

FLAGSHIP MANAGEMENT

NEWS LETTER



2025

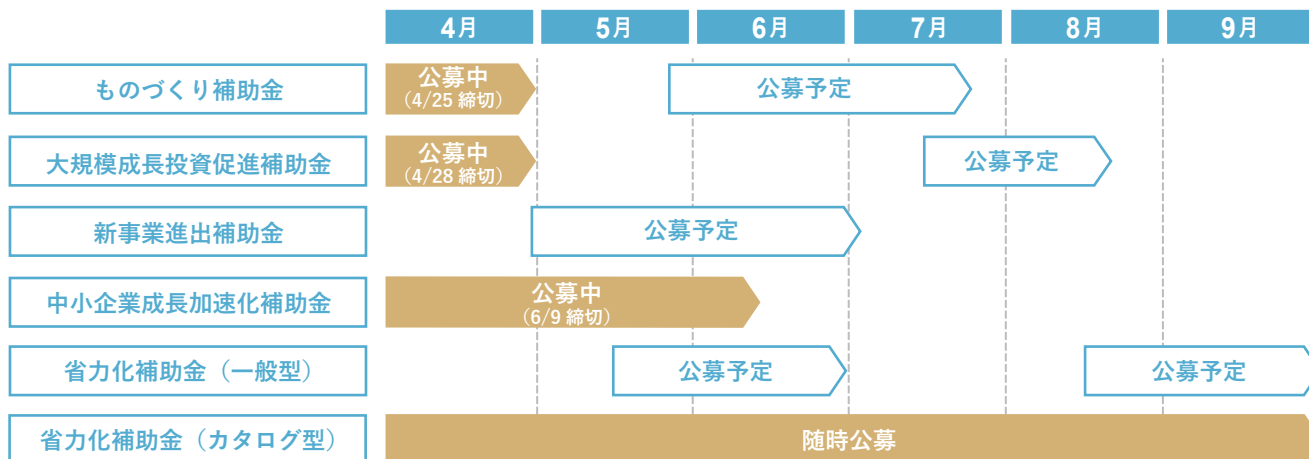
4

vol.096

CONTENTS

- ✔ 主な補助金と公募スケジュール
- ✔ 自治体の補助金公募情報
- ✔ 現場のムダを見つけてみよう
- ✔ 今日も視界良好

主な補助金と公募スケジュール



	内容	補助上限	補助率
ものづくり補助金	革新的な製品・サービス等の開発に必要な設備投資等を支援	2,500万円（製品・サービス高付加価値化枠）、 3,000万円（グローバル枠）	1/2～2/3
大規模成長投資促進補助金	10億円以上の大規模投資と積極的な賃上げを支援	50億円	1/3 ※最低投資額：1億円
新事業進出補助金	既存事業とは異なる新市場・高付加価値産業への新規参入にかかる設備投資等を支援	7,000万円	1/2 ※補助金額下限：750万円
中小企業成長加速化補助金	売上高100億円超を目指すための工場増設、設備投資など大規模な投資を支援	5億円	1/2 ※最低投資額：1億円
省力化補助金（一般型）	個別の現場の設備や事業内容に合わせたオーダーメイド型の省力化投資を支援	8,000万円	1/3～2/3
省力化補助金（カタログ型）	人手不足解消に効果がある汎用製品の設備投資を支援	1,000万円	1/2

※スケジュールは当社予測を含みます。また、各公募情報は2025年3月21日時点の情報のため、公募開始時に変更となる可能性があります。

自治体の補助金公募情報

岡山県

人手不足対策設備導入等支援補助金（公募中・5/13 締切）

物価高や人手不足解消に向けた業務プロセス改善、業務効率化等の取り組みを支援

補助上限 1,000万円 補助率 2/3

詳細はこちら



富山県

中小企業トランスフォーメーション補助金（公募中・7/31 締切）

デジタル技術を活用した生産・サービス提供方法の改善、CO2排出量削減に資する取り組み等を支援

補助上限 500万円 補助率 1/2～2/3

詳細はこちら



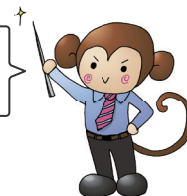
神奈川県

中小企業生産性向上促進事業費補助金（公募予定・5月締切予定）

生産性向上や業務プロセスの改善等に繋がる設備投資を支援

補助上限 500万円 補助率 1/2～2/3

補助金を活用した設備投資をご検討の際は、お気軽にお問い合わせください。



※スケジュールは当社予測を含みます。各公募情報は2025年3月21日時点の情報のため、公募開始時に変更となる可能性があります。

この春、新たに入社される方を迎える事業者様も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。業務の方法をお教える前に、現状の業務内容が効率的であるのか見直してみましょう。生産性の効率化には、付加価値を生まない作業、つまり、ムダを徹底的になくすことが重要です。



7つのムダとは

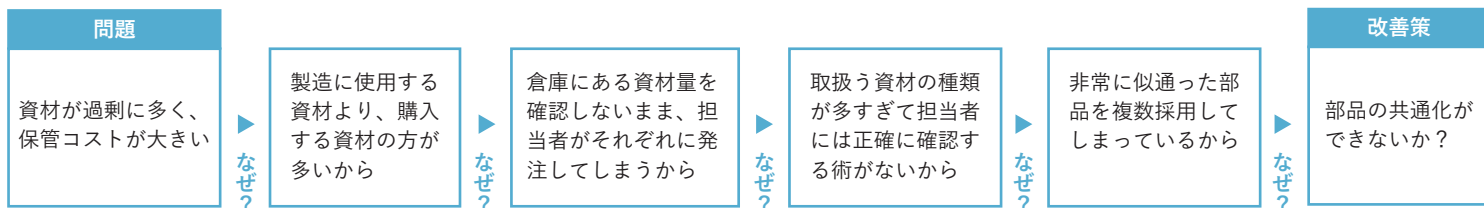
7つのムダとは、ものづくりの現場において問題となるムダのことです。製造現場には大きく分けて7種類のムダがあると言われています。日頃の業務に慣れてしまっていると、ムダは見つけづらいものです。一度自社の現場を俯瞰してみて、これらのムダが潜んでいないか探してみましょう。

作業のムダ	動作のムダ	作業者の習熟度合いによって生じるムダ。探す、持ち替えるなど作業者ごとのバラツキはありませんか？
	運搬のムダ	移動時間や距離のムダ。材料や製品を持ち運ぶ動線はなるべく短く、運びやすく保っていますか？
作業者間のムダ	手持ちのムダ	作業員が手持無沙汰な状態である人件費のムダ。機械の待ち時間にできることはありませんか？
	作りすぎのムダ	いずれ必要になるだろうと作りすぎるムダ。必要なものを必要な時に必要なだけ作るのが原則です。
	在庫のムダ	不必要な資材を在庫で抱えるムダ。在庫過多は資金繰りにも影響します。ついつい在庫が増えてしまっていないですか？
作り方のムダ	不良のムダ	不良品によるムダ。不良品が発生すると人件費、材料費、廃棄コストも発生します。不良が発生するタイミングを突き止めましょう。
	加工のムダ	本来は不要である作業のムダ。不要な検査をしたり、念のためや習慣で行っている作業はありませんか？

ムダを見つけたら

①なぜなぜ分析をしよう

ムダを見つけたら、まずは「なぜなぜ分析」をします。なぜそのムダは生じているのか、その原因に対し5回「なぜ？」と問いかけることで真因を突き止める方法です。



②改善策を立て、PDCAを回そう

問題の真因が見つかったら改善策を立てましょう。改善策は、「誰が」、「いつ」、「どのように改善に取り組むのか」、担当者とな具体的な取組内容を決めることが大切です。

また、1週間に一度など、定期的に改善策の進捗と効果を確認しましょう。

効果が見られなければ他の方法を試す、というトライアンドエラーを繰り返しながら、ムダを取り除くことを目指します！

当社のサービス

経営顧問 経営改善 計画策定 新規融資
 条件変更 事業再生（債権カット）
 人事制度・研修 事業承継支援 補助金申請
 計画認定支援

お問い合わせ



FLAGSHIP MANAGEMENT
 株式会社フラッグシップ経営

ホームページは
 こちらから



☎ 0120-34-8776 ✉ info@flagship-keiei.co.jp

君の
コンさる

今日も視界良好

⑤ 「成功するための環境」 代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

最近同じ本を何度も読んでいますが、最近読んでるのは明治時代のベストセラーであるサミュエル・スマイルズの「自助論」を要約したマンガです。

様々な分野で活躍した人々の事例や言葉を引用しながら、自助（自分自身を助ける）の精神をまとめたもので「天は自ら助くる者を助く」という序文は皆様も聞いたことがあるのではないのでしょうか。

この本の中で、出生つまり生まれた環境によって人生は決まるのかという論点があります。

自助論の中ではニュートンなど具体的な人物名を挙げながら、成功を収めた人は何かしらの苦勞を乗り越え、夢を実現した者が多かったと結論付けております。

これは、私自身の境遇にもすごくあてはまり（自分は成功者ではないが）、幼少期の苦勞がその後の人生に大きなプラスの影響を与えたと考えています。

困難に立ち向かおうとする時に発揮される人間の底力、通常では到底発揮できない能力が溢れ出てくるのです。ただし、そうなるためには周りのサポートも必要です。

例えば貧しい家庭に生まれていたとしても親が明るく、自己肯定感が高い人間になるように育てた場合にその傾向が高いと思います。その意味で私は自分の努力で這い上がる環境は整っていたのでしょう。

「困難は成功への最大の援助者になる場合がある」とも記されていますし、「財産が多くある家で育つとその財産が帰って本人の成長の障害になり、それは貧しい家で育った障害よりも大きい」とも記されています。

自分が置かれている環境に嘆くよりも、どうしても成功したいという強烈な願望が成功に導いてくれるというこの本のテーマが自分の境遇や哲学にピッタリだったのでご紹介させていただきました。



代表取締役 長尾 康行



⑥ 「近場で贅沢」 経理・総務 松野 あやか

先日、兵庫県たつの市にある「牡蠣直売所 住栄丸」に行ってきました。

瀬戸内海を一望できるレストランで、今回は、牡蠣膳コース（牡蠣酢・焼き牡蠣・牡蠣フライ・牡蠣の炊き込みご飯）をいただきました。牡蠣好きの私にとって至福の時間でした。最初にいただいた牡蠣酢は、プリッとした食感と酢の酸味が絶妙なバランスでした。焼き牡蠣は、スーパーで見る牡蠣よりも倍以上の大きさで、濃厚な旨味を堪能できました。穏やかな海を眺めながら、新鮮な牡蠣を味わう贅沢な時間で、ご褒美そのものでした。

海を眺めながら牡蠣を食べるといった夢が叶ったので、次は、海を目の前に眺めながらホタルイカを食べることを夢見ています。ちなみに、住栄丸さんでは、調味料・野菜の持ち込みが可能な牡蠣食べ放題メニューを提供する牡蠣小屋もあるようです。



⑦ 「子どもの頃の夢は今も心のどこかに」 インターン生 平手 陸翔

みなさんは子どもの頃の夢を覚えていらっしゃるでしょうか。私は思い返してみると、プロ野球選手やお医者さん、学校の先生など様々な職業に憧れていましたが、中でも一番初めに憧れた職業は電車の車掌さんでした。

幼少期、私は電車が大好きで、本やビデオを見て名前を覚えたり、祖父に連れていってもらって近くの駅で一日中走る電車を見ていたり、という今で言う「推し活」をしていました。

そんな20年近く前に持っていた子どもの頃の夢を思い出す機会がありました。それは山梨県立リニア見学センターを訪れたことです。実験センターは実際に実験で使用されていた車両が展示されていたり、リニアが走る仕組みを解説していただいたり大人でも十分にワクワクできる内容でした。

中でも最もワクワクしたのは走行試験を実験センターのバルコニーのような場所から間近で見られることです。時速500kmにも及ぶリニアがすぐそこを通過する迫力は、目で見る速さだけでなく、音や風など五感が刺激され、震えるような感覚がありました。乗る事こそ叶いませんでしたが、特別な体験になりました。

このときに、子どもの頃の夢は今でもどこか自分の中に生きており、何にも代えられない胸の高まりをくれたと感じました。

小さな頃は誰もが何かに憧れて、何かになりたいと思っていたと思います。そのときの胸の高まりは必ずどこかに残っているので、どこか気持ちが晴れないと感じた際には子どもの頃の夢や憧れを思い出して、それに関わるものに触れてください。

どこか懐かしい気持ちになり、重たい空気を吹き飛ばしてもらえましょう。

⑤ 「久しぶりの地元での休息」 インターン生 荒井 雅人

先日、祖母の誕生日を祝うために栃木県にある私の実家に帰省いたしました。
1月に成人式に出席するために帰省した際には、大学のテスト期間と時期が被っていたため、実家でもずっと勉強をして、家族や友人と過ごす時間を取ることが出来ませんでした。
今回の帰省では、何にも関わらずにゆっくりすることが出来ました。日々勉強やインターン、アルバイトなどで充実した生活を送らせていただいておりますが、たまには何も考えずにぼーっと過ごすことも良いなとひしひしと感じました。
祖母の誕生日会では親戚が多く集まり、とても賑やかな雰囲気でした。私も去年に20歳を迎えたため、両親や親戚とお酒を飲みました。子供の頃の私にとってお酒を飲むということは憧れそのものでした。そのため、こういった場でお酒を飲むことが出来、とても楽しかったです。
機会があれば旧友とも肩を組みながらお酒を飲みたいと感じる最近でございます。

⑥ 「集団知は個人知に勝る」 マネージャー 木戸 貴也 (中小企業診断士)

目標や計画を立てるより、それを実行する方が何倍も難しいことは、皆様も経験されたことがあるのではないのでしょうか。

これは、経営ノウハウやマーケティングノウハウ、ものづくりのノウハウ、サービスの提供ノウハウなどは重要なのですが、このノウハウを実行できる組織がなければ、継続してパフォーマンスを発揮することはできないからです。

どれだけ優秀な人でも盲点があるもので、アイデアや切り口の数を増やす、抜けている観点があるのかどうか、集団知を引き出せる組織が中長期的には競争力を得ていくものです。

1人1人の力を発揮し、集団知を引き出すためには、個人個人が持つスキルと組織の仕組みの両方が重要であり、この2つは掛け算であると心得なければなりません。仕組みには感情がなく、精神論でもないシステムティックなものです。

1人1人が持つスキルや行動には感情を込め、仕組みからは排除する。このバランスによって個人が組織のために正しい行動をとることにつながります。

小さな企業、小さな組織であるほど、1人のノウハウで何とかなってしまうものですが、どこかのタイミングで集団知に切り替えるようにパラダイムシフトしなければ、せっかく立てた目標や計画が実行できない、達成できない状態を回避し、実行できる組織を構築していきましょう。



⑦ 「39歳の誕生日を迎えて」 ビジネスアナリスト 伊藤 侑加

先日、39歳の誕生日を迎えました。
これまでの人生を振り返ると、さまざまな出来事がありましたが、特に30代は、結婚や仕事、そして社会情勢の影響を大きく受けた、変化と成長の時期だったと感じています。
コロナ禍では、日々の暮らしや人との関わり方について改めて考えさせられ、当たり前だと思っていた日常が、実はかけがえのないものであることに気づかされました。



家族や友人などの繋がりがどれほど貴重で大切かを再認識する時間となりました。
若い頃には、30代の自分は落ち着きがあり、成熟した大人になっているだろうと思っていました。
雑誌に掲載されている洋服や化粧品を購入し、理想的な生活を送る自分を夢見ていました。
しかし、現実はまだ未熟で、迷いや不安を感じる事が多く、時には自分の選択が正しかったのかと振り返ることもあります。
体面では、10代や20代の頃のような無理が利かなくなり、健康を大切にすることを意識が強くなりました。
最近、「何事にも完璧を目指すことは理想であるものの、できない自分も受け入れ、一歩ずつ前に進んでいくことが大切だ」と考えるようになりました。
30代最後の1年を迎えるにあたり、多くの方との出会いや支えがあり、今の自分があることに感謝をしながら、新たな挑戦を続け、一歩ずつ進んでいきたいと思っております。



⑤ 「自身の天秤を考える」 ビジネスアナリスト 橋本 大治



これは本で見たわけでも偉い方が言っていたわけでもないで個人的な考え方ですが最近、様々な物事を天秤で考えるようにしています。

ご存じの通り、天秤は両サイドに様々なものを載せ、どちらに傾くかで重さを測る道具ですよね。私は物理的なものも精神的なものも万物が釣り合いを取って回っており、釣り合おうとして変わっていくと最近思っています。

経済学者のアダム・スミスが言う「神の見えざる手」も経済は個人が利益を追求することで自然と調和が生まれていくという考えも同じことだと思います。

他者の行動や自分の行動は常にバランスをとろうとしており、何と何がバランスを取っているのか考えることがまるで傾いている天秤に乗っているものを確認しているようです。

小難しい表現をしていますが簡単に表現すると自分が選択したことに対する思考プロセスを整理しているだけの話です。

しかし、個人的には天秤と捉えることで様々なことへの理解や解釈が進みました。皆さんは朝、目覚ましを鳴った瞬間何をしますか。目覚ましを止めてすぐに動き出す方もいれば、二度寝をする人もいるでしょう。

二度寝をする人の中には二度寝を見越して本来より早く目覚ましをセットする人もいると思います。ちなみに橋本は本来起きる時間の10分前と10分後に目覚ましをセットしています。どちらが正解ということをお話しているわけではありませんが、SNS等を見ているとこんな些細な話題に対しても賛否両論が発生します。

「睡眠の質を下げる」、「心にゆとりが出来る」、「二度手間」、「精神の甘えに繋がる」等、最近のSNSを見ていると怒らなくても良いことに腹を立てている人が多いように感じます。何故、喧嘩が起きるのかを考えると天秤の種類が違うんだらうという結論に至りました。

ここで橋本が天秤という言葉を使う理由を一つご説明します。本来は正常に重さを比較するものですが天秤は錆びてしまう可能性があるためです。つまり、これまで歩んできた人生観等から天秤の比重を正しく機能させられていない可能性があるということです。

読んでいただいている皆様、20代の若造が自分や他者を理解するために辿りついた拙い思考方法なので「どの天秤が正しいのか」と問うのはご容赦ください。ただ、相手とはそもそも天秤が違うという前提を持つのは自分の中で非常に価値がありました。同じ天秤でも傾き方が違うのです。そういった違いも理解しつつ、相手の天秤は何が乗っているのかを考えることもまた重要です。

やる気がない人、モチベーションが高い人、離れていく人、寄ってくる人、全てに天秤があります。その人の天秤がどう形成されたのかは理解出来ずとも、天秤の錆具合（思考の偏り）や両サイドに乗っている重りは理解出来るのではないのでしょうか。

先日、知人と会話している時、カメラの話になりました。カメラが趣味の人がいた場合に、その人にとっての価値は何かという話です。「写真を取る行為が好きの人」、「写真をきっかけに自分の経験等を人に発信するのが好きの人」、「写真を撮るためのカメラが好きの人」、「綺麗な風景等を残すのが好きの人」等、カメラという趣味でも意味合いは様々です。知人との話ではどこに価値を置き、どこを目指しているかで技術の上達速度が変わるという話題でしたが、これも天秤に錆がついている状態と捉えることが出来ます。

カメラという趣味の話題では「綺麗な景色」「他者との繋がり」「自身の成長」「モノの収集」「カスタマイズの楽しみ」等が「行う重り」でしょう。これに対して、「時間」「お金」「他者の視線」「面倒さ」等が「行わない重り」です。それぞれの重りに対して、今回は知人Aを「進捗性や成長」に関心が強い天秤の持ち主と仮定します。この際、決めつけではなく「こんな天秤を持っているのかもしれない」という仮定にすることが大切です。自分はその天秤を使ったことがないので、知人Aからは「上達するように知識を蓄えないと結局、辞めてしまう。楽しめなくなる。」という意見が出ましたが果たしてそうでしょうか。

天秤が近い人からするとその意見は正しく、上達するための知識を与えてあげるのが良い対応でしょう。

しかし、別の天秤を持つ人からすると「こうしないといけない」と指導されるとむしろ義務が生まれ楽しくなくなってしまいます。この程度の話であれば「こうするともっと上手く撮れるよ」と伝え方や干渉の仕方を調整すれば済む話ですが日常ではそう簡単な話ではありません。

最近特に会社と個人を切り分けて考える傾向が強くなり、経営者の方も従業員の方も幸せそうに見える機会が少ない（職業的なものかもしれませんが）です。しかし、相手の天秤を知ろうとすれば納得は出来なくても理解に繋がり、向き合い方も変えていけるのではないかと個人的には期待しています。天秤と同じように視座等も単に違うで終わるのではなく、視座をすり合わせていくのが前に進むことではないかと思えます。

是非、天秤について考えてみていただければと思います。



⑤ 「診断士2次試験を終えて」 ビジネスアナリスト 社内 愛里



昨年秋、中小企業診断士の2回目の2次試験を受験しました。受験を終えて、私がこの場をお借りしてお伝えしたいことは2つの感謝です。

1つ目は、応援してくださった事業者様や当社社員の皆さんへの感謝です。

いつもお世話になっている事業者様から応援や労いの言葉をいただいていた。

同僚は何十時間も自分の時間を割いて私に勉強を教えてくださいました。また、代表や先輩社員からアドバイス、他の方々からもいつも気遣いと応援の言葉をいただいていた。周りの方々がずっと温かく支えてくださったからこそ、最後まで諦めずに試験に臨むことができました。全国の受験生の中でも私が一番幸せな受験生でした。

2つ目は診断士試験への感謝です。私が診断士試験に出会ったのは2年と少し前のことですが、当時は今以上に自分に自信がありませんでした。前職では医師や薬剤師を相手にしていたこともあり、自分はこれまで何をしてきたのだろうとこれからの社会人生活を悲観視していました。そのような時期に、本屋さんで診断士のテキストを見つけました。

そこには、私が大学時代に図書館に引きこもって勉強していたことが沢山詰まっていた、これなら頑張れるかもしれないと嬉しさとワクワクを感じたことを覚えています。

そして、国家試験を受験する挑戦、転職するという挑戦、事業者様や当社の皆さんに出会いお勤めする機会をいただいていること、これらはすべて診断士試験が私にもたらしてくれたものだと思っています。あの時、私が診断士のテキストを取らなければ、今の私はいません。今も変わらず、同じ場所でよくよしていたと思います。

私のこの2年間の一連の挑戦を通じ、「自分の人生は自分で如何様にも変えられる」と学ぶことができました。今後もこの学びを活かして挑戦していきます。

もし、過去の私のように悩んでいる方がいらっしゃったら、この記事がその方にとって一歩を踏み出し挑戦する後押しになれば幸いです。応援いただきありがとうございます。

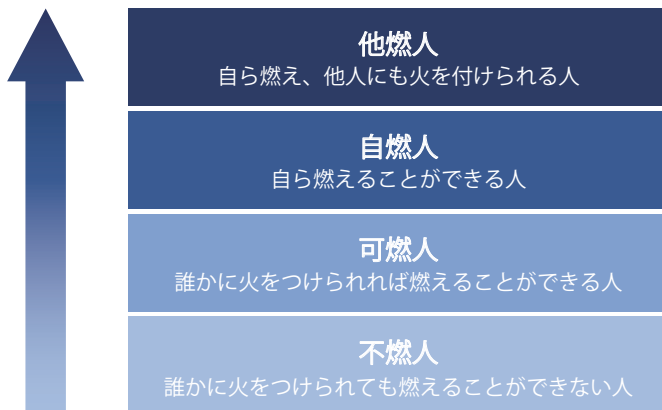
「2課のご紹介と共通目標」ビジネスアナリスト 橋本 大治

こんにちは橋本です！フラッグシップ経営ではコンサルタント職が2チームに分けられており、私は社内と2名で平均年齢25.5歳の若手チームとして活動しています。チーム結成の際にはそれぞれのチームが目標を設定しました。

会社全体やチーム毎等、集団で目標や方針を設定する際には話し合いながら、お互いが考えていることや目的を共有するプロセスが重要です。

組織の3要素として『共通目標』『貢献意欲』『コミュニケーション』がありますが個人的には根幹を担うのは『コミュニケーション』だと考えています。コミュニケーションをとる中で共通の目標や貢献意欲が生まれることもあります。

今回2課が共通目標として設定した内容の一つに「全員が『他燃人(※)』として、社内外に良い影響を与えるチームとなる」というものがありました。



※他燃人とは京セラ創業者の稲盛和夫氏が組織の人材を「自燃人」「可燃人」「不燃人」の3つのタイプに分類したことから始まる個人のパーソナリティを分類する考え方です。

若い2名ですが一社員として自社において他燃人であることは勿論のこと、支援者としても事業者様に対しても「火」を灯せるようなコンサルタントを目指して参りますので皆様、今後ともよろしく願いいたします。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関
大阪本社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX高麗橋ビル5階
和歌山支店：〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島1518 中之島801ビル12階
TEL：0120-34-8776 FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp URL：www.flagship-keiei.co.jp



⑦ 「紅茶のこだわり味わってきました！」 営業事務 吉川 鈴夏

先日、滋賀県にあるキリンビバレッジ工場へ行き、「午後の紅茶」の工場見学をしてきました！

最初に「午後の紅茶」の名前の由来について教えてもらいました。

19世紀のイギリス貴族が午後に紅茶を楽しむアフタヌーンティーから名付けられたということを知り、紅茶の歴史と併せて教えてもらいました。

工場では、「午後の紅茶」が色・香り・味の3つの要素を大切に作られていることを学びました。

定番商品のストレートティー、レモンティー、ミルクティーも種類ごとに使用している茶葉を変えていたり、きれいな紅茶色を保つための製法を開発したり、ペットボトルの形状までこだわっていたり、普段何気なく飲んでいましたが、その裏にはたくさんのこだわりが詰まっていた。

茶葉の抽出や製造工程は外からは見えませんが、動画を使って詳しく説明してくれました。厳格な品質管理のもと、丁寧に作られていることを知ることができました。

見学の最後には、3種類の「午後の紅茶」を試飲しました。製造のこだわりを知ったうえで飲むと、味の深みや香りの違いを感じられ、いつもより美味しく感じましたし、より一層、紅茶が大好きになりました。

今回の工場見学を通じて、ものづくりの情熱や品質へのこだわりの大切さを改めて実感しました。

皆さんも機会があれば、ぜひ行ってみてください！



⑧ 「健康ごはん」 営業事務 造田 朋夏

最近「健康ごはん」がマイブームです。きっかけは近頃ちょっとした体の不調や肌荒れなどが続き、思い返してみると食生活が乱れているなど感じたためです。自炊で数種類の品数を作ろうとすると食材集めや調理時間の問題でなかなか作ることができなかつたり、普段の外食では自分の好きのものを食べがちになっていたり、食生活の見直しが必要であると反省しました。

最近大阪では栄養バランスが考えられた食事を提供する飲食店が増えており、美味しくて充実した体に良いものを手軽に取り入れることができます。

お店によっては白米ではなく雑穀米や玄米を選択できる場合や、小鉢の内容まで自分好みに選択できる場合もあり、健康を意識しながら美味しい食事を食べられることに魅力を感じています。

1日に必要な5大栄養素は「たんぱく質」「脂質」「ビタミン」「炭水化物」「ミネラル」であり、年齢に応じてより細かく摂取推奨量が定められている場合もありますが、まずは5つの栄養素を毎日バランス良く摂取することから始め、健康を維持していきたいと思います。いつかニュースレターでご紹介できるよう、自分で健康ごはんを作ることにも挑戦したいです。



⑨ 「念願の歯列矯正がスタートしました」 営業事務 市位 桃花

先月、ニュースレターにてお話しした歯医者さんで歯列矯正を始めることにしました！

前は初回の無料相談でざっくりとした費用感や矯正期間などの話を聞いたところまででしたが、その後、精密検査を受け、その結果をもとに矯正プランを立てていただき、約3年間の表側ワイヤー矯正に決まりました。一番恐れていた抜歯は下の親知らず2本と上下の4番目の歯4本の合計6本の抜歯が確定しました（泣）他院でプランを聞いたときは抜歯8本だったのですが、先生によると「上顎の親知らず2本は真っすぐに生えているので、抜かずに矯正によって口元が引っ込み過ぎた場合のバックアップとして取っておきましょう」とのことでした。親知らずに活用方法があったことに驚きました。

説明の中で私のレントゲンや石膏の模型などを駆使してメリットだけでなく、起こりうるデメリットやリスクについてもしっかり説明してくださり、そうならないようゆっくり時間をかけて丁寧に動かしていきましょうと言っただけ、この先生にお願いして良かったと思えました。

現在は抜歯や固定器具をつけるスペースを確保するためのゴム入れを終え、上顎の4番目の歯2本の抜歯を終えました！抜歯は怖すぎて親知らずの抜歯経験者である造田さんにリサーチをしてから挑みました（笑）

リサーチした通り、確かに痛くはなかったのですが抜くときも抜いた後も口の中が怖く、数日間口の中がまずかったです。個人的にこの抜歯がかなり嫌だったのでもうやりたくないと思ってしまいました。ですが、すでに歯抜けであるためここで辞めるわけにはいかないので3年後のピカピカの歯並びを思い浮かべながら頑張っていきます！

また、歯列矯正をすると顔が変わると先生から聞きました。どんな風に顔が変わっていくのかも楽しみです。

